

市民プール周辺の樹木剪定・草刈り

月刊

さわやか

第27号

平成21年7月15日

《発行》

(社)日野市シルバー

人材センター

日野市日野本町2-4-7

0421581-8171

会員数

平成21年5月31日

1,637名

男性 1,256名

女性 381名

入会者数

5月 34名

(男22名、女12名)

但し、退会者 10名

植木草取り草刈り公園班が ボランティア活動 プール開きを前に

総勢51名が参加

7月11日のプール開きを前に周囲をきれいにしよう！子供たち、市民の皆さんに安全・安心な場所を用意しよう！ 当センターの植木・草取り・草刈り班および公園

これは、当センターがプール周辺の草取り、草刈りの仕事を委託したところ、契約外のキンモクセイが用水路際200mにわたってうっそうと茂っており、これを見るに足かね放置するわけにいかなくなつたため、そこで作業の初日は、キンモクセイの剪定を中心に

園グルー
プの総勢
51名が6
月29日午
前、市民
プール周
辺の樹木
剪定と草
刈り作業
をボラン
ティアで
おこない
ました。



キンモクセイを剪定する作業者

全員がボランティア活動をするこ
とになりました。

参加者は、植木班が伊藤事業
部会長、二村理事ら19名、草刈
り班が谷口班長ら23名、草刈り
班が山中班長ら5名、公園グルー
プが橋本安全管理委員長ら4名
さらに池田事務局長、半田局長
代理も顔を見せました。

涼しい風が流れた

午前八時、集結した一同に伊
藤部会長が「ボランティア精神の
発揮と安全就業の注意を」と気
合を入れると、全員、配置につぎ
ます。生い茂ったキンモクセイでは
「シャキ、シャキ」と剪定ばさみの
音が絶え間なく聞こえ、大枝はノ
コで切り落とされます。

剪定の済んだキンモクセイの間
隙から、用水路のフエスが現れ、
涼しい風が流れました。

通路を埋めた枝は総量2.5ト
ンに達し、橋本理事の指揮でトラ
ックに積みきれクリーンセンターへ

往復を重ねました。

他方、プールサイドでは「シャリ
ン、シャリン」と刈払機が作動中。
下草が刈り払われるとともに、白
いフエスに巻き付いたつる草も取
り払われていきます。一連の作業
は正午まで続けました。

この日のボランティア活動は日
野ケーブルテレビが取材しました。
(Y.T.)

平成16年3月末までの入会者
登録会員票を更新します

当センターでは、平成16年3月
31日までに入会された会員の「登
録会員票」の更新手続きを実施し
ます。その目的は、これまでこう
した手続きをしていなかったため
登録データが古くなり、会員の皆
様によりよい情報提供ができない
可能性があるからです。
手続きは7月末から地域班単
位で開始する予定で、事前に各
会員にメール便で通知します。

全地域班一斉清掃

7月19日(日)に実施
集合場所 時間は各班で設定

第1回ブロック長・担当理事合同会議開く

今年度初のブロック長・担当理事合同会議が6月15日、センター会議室で開かれました。下表参照、ブロックについては3面「それってなに？」で説明)

これには各ブロック長・担当理事のほか、北村会長、安藤副会長、総務部会から菅原部会長と賀来部会員が出席しました。

主要議題は、「このところ懸案の「地域班のあり方」。事前に開催された各ブロック会議の報告を受け、問題点を討議しました。

出席者の主な発言は次の通り。

一、班長手当の改定案は了解(複数のブロック長より)。「現行月一律2500円を会員数に応じた額に。平均で約3400円」

一、地域班会議の目的は何かと聞かれることがあるが、理事会の方針の伝達と、会員皆さんの声の押し上げだと答えている。

一、地域班によって、班員の多い所、少ない所がある。もう少し平均化すべきではないか。

一、副班長を置いていない班が多いが、規定通り置くべきだ。

ブロック長・担当理事一覧表(平成21年度)

ブロック	ブロック長	副ブロック長	地域班	担当理事
A	増田 繁	桑原重興	日野1、日野2、万願寺1、万願寺2、日野4、日野本町	橋本幸久
B	田村隆道	名取孝恭	新町、栄町、神明、大阪上、日野台1	伊藤幸平
C	清水憲素	栗山 進	日野台2、多摩平1、多摩平2、多摩平3、旭が丘1、旭が丘2	今井信一
D	松本仁一	伊藤義視	豊田、東豊田、東平山、西平山	山本 寛
E	小川寿二郎	野上昭雄	平山1、平山2、鹿島・南平、南が丘・南平台、南平2、南平3、程久保	田中政寿
F	酒谷壽夫	菅原嘉雄	新井・高幡、落川・百草、三沢、高幡台、百草台	菅原嘉雄

各ブロック長は地域班長の互選、副ブロック長はブロック長の指名による。1年交代の輪番制。

第七ブロック女性会員研修会 府中市で開催

「女性会員就業の推進」と題するシルバード人材センター(SCC)第七ブロック女性会員研修会が6月26日、府中市立ふれあい会館で開催され、日野市SCCからは渡辺由紀子理事、渋谷善子理事、吉本清美広報部会員の3名が参加しました。

女性会員研修会は初めての試みで、第七ブロックのメンバー8市SCCの代表が各自、事例発表をおこないました。当センターについては渋谷理事が発表しました。

第七ブロック「八王子、府中、調布、町田、日野、狛江、多摩、稲城(市制順)の8市SCCで構成。



研修会での渡辺理事(右)と渋谷理事

理事会二ニュース

第4回理事会 6月30日

審議事項「正会員の入会 地域班長等の手当てに関する要綱(案) 役員等費用弁償支給規定の一部改正について
報告事項「都議選投開票事務業務 会員票のデータ更新
5月度事業運営状況 各部会・委員会の活動報告

「センター」行事日程

7月14日(火) 第3回地域班長会議「生活・保健センター」
7月19日(日) 全地域班一斉清掃「各地域」
8月27日(木) 30日(日) 第13回会員作品発表会「日野市民会館・展示室」
9月15日(火) 役員・地域班長合同管外研修「港区SCC・浜離宮恩賜公園・浅草周辺

配分金の支払日

7月17日(金)
8月20日(木)
9月18日(金)
10月20日(火)
11月20日(金)
12月18日(金)
1月20日(水)

今年度初、体制を一新して

統括リーダー会議

今年度第1回の統括リーダー会議が6月12日、当センター会議室で開かれました。これには、今年度新たに任命された4名の統括リーダー(各リーダー名は別表)のほか、北村会長、安藤副会長、池田常務理事、および事業部会から伊藤部会長と田村理事が出席しました。

当センターの統括リーダーは平成19年10月に設置され、当初8名(のうち9名)が公共職場5分野に配置されました。今回は5分野を4分野に整理し(公園関係とスポーツ施設を一本化)、統括リーダーの数も削減しました。この1年半の経験に鑑み、職務の効率化と実効性を図るためです。会議では、統括リーダーの設置目的と任務を再確認しました。つ

今年度の統括リーダー

- 公共施設関係 高木 計宏
- 学校関係 千田 仁一
- 公園スポーツ関係 橋本 幸久
- 自転車関係 横関 文男

まり、仲間同士のトラブルを早期に解決し、客先からのクレームをなくす、職場の雰囲気明るくすることです。新リーダーは各種の懸案事項を討議しました。

都議選でも選挙事務受託

さる4月12日の日野市長選市議補選につづき、7月12日投票の東京都議会議員選挙でも、当センターは選挙事務の委託を受け、投票所の受付作業に58名、同待機者10名、開票作業に40名の計108名が就業しました。

就業に先立ち、日野市選挙管理委員会の安井弘之事務局長を招いての説明会(6月16日)、および4日間8回にわたるリハーサルがおこなわれました。



日野市選管による選挙事務説明会

第13回 会員作品発表会 《申込期限：7月31日》

開催期間：8月27日(木)～30日(日) / 日野市民会館・展示室

募集品目・作品サイズ：本紙5月号に掲載したとおり

申込方法：〒番号と住所、氏名、地域班名、電話番号、品目と点数(サイズのあるものは、そのサイズ)、題名(複数出展は各々に題名をつける)、当期間中午前(A)か、午後(B)に会場の当番が出来る日を明記してください〔×日(A)とか、×日(B)とか〕 [注]応募点数は各品目ごとに一人2点まで

上記の各番号(～)のあとに細目を書いて、必ずハガキで申し込むこと

申込み・問合せ先：日野市シルバー人材センター 事務局・鶴川(電話581-8171)

出展後の詳細については、8月上旬に文書でお知らせします。

包丁研ぎデモつづく

当センターの包丁研ぎグループによるデモンストレーション出張研ぎ無料サービスが6月14日(日)、午前は神明2丁目の団地グリーンコート日野(50戸)で、午後は新町の都営団地(45戸)で行われました。これはさる4月26日の新坂下団地でのデモンストレーションに続く第2弾。グループの5名と池田事務局長、半田局長代理が参加しました。

それってなに？

ブロック

原義は「区画」のこと。当センターでは全33班をA、Fのブロックに分けています。以前は「地区」と呼んでいましたが、昨年11月の地域班長連絡会運営要領の改正で「ブロック」に改名されました。同時に、地区リーダーはブロック長と改名されました。各ブロックの地域(区画)については、シルバーひの今年1月号14頁を参照してください。なお、ブロックは多義語で「塊り」や「防御」の意味でも使われます。

事故を受け植木班が早朝安全集会 “家族や仲間をもっと痛い!”

当センターの植木班(現在4班計26名)では6月18日早朝、午前7時から30分間、臨時に職場ミナティングをおこない、安全就業の徹底を確認しました。

場所はリサイクル事務所。裏庭には6時半前から仲間達が集まり、梯子や脚立の作業車への積み込みなど、準備に余念がありません。出発直前、ふだんは短時間の安全確認で終えるのですが、この日は事務所内に入り、ミナティングへ参加者は20名。

といったのも、さる6月9日、仲



植木班の職場ミーティング(6月18日)

間の1人が作業中転落し、腕、腰などの打撲で長期入院という重大事故が発生したからです。これは、昨年度末に起きた同様の事故に次ぐもので、植木班にとって痛恨の事故となりました。

ミナティングは大倉昭次2班々長(安全管理委員)の司会で、仲間の1人が事故状況を報告。池田常務理事、橋本安全管理委員も駆けつけ、挨拶しました。池田常務理事は怪我をして本人も痛いだろうが、家族や仲間をもっと痛い。今こそ気を引き締めようと呼びかけました。

群馬県SC連合で安全講演

群馬県シルバート人材センター(SC)連合からの依頼で7月3日、当センターは同SC連合の事務局職員向けに前橋市SCで安全就業について講演しました。これには当センターから池田常務理事、伊藤事業部会長、橋本安全管理委員長、飯森安全管理委員会副委員長が出席し、講演は伊藤氏が担当しました。



北川原公園での実習開始

刈払機講習会を実施

——前年上回る19名が受講

当センターが毎年実施している刈払機(第2種技能)講習会は今年5回目になり、6月26日午前9時〜午後4時、例年どおり多摩川グラウンド市営管理棟(午前)および北川原公園(午後)でおこなわれました。講師はいつもの林材業労災防止協会技能師範の上野徳也氏。

今回の受講者は19名で、昨年の15名をかなり上回りました。本紙前号で報じた「草刈り新体制のスタート」が注目されているのかもしれない。

知恵袋

土方 憲司

小学生の頃、親に勉強しろとは言われなかったが、家の手伝いは多かった。畑や田んぼの草取りをするとき、大きい芋虫をつまみ上げたり、おけらを掘り出したり、蝉取りに夢中になったりしていた。そんな私に母は時々説教してみた話をした。

六年生のときだった。縁側で母が「近くへ寄れ」と言うので母の隣に腰かけると、「憲司はチビだから大飯喰らって早くでっかくなれ。小さければ小さいで知恵を働かせろ、誰でも持っている知恵袋だ」と言うので、「体が小っちゃければ知恵袋も小さいよ」と言い返すと、「知恵袋はな、体の大小に関係ないよ、昔から大男総身に知恵は廻りかね」と言っただらと母は言った。「むずかしくて解んないよ」と言ったら、母は白い歯を見せてガラガラ笑った。

体の小さかった私を母は案じてばかりいた。母が逝って十五年になる。

(「エッセイ教室 関根先生監修」)